

—ONWARD—

2025年2月期(2024年度)上期
決算説明資料



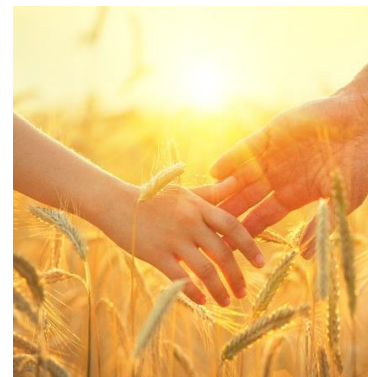
2024年10月3日

株式会社 オンワードホールディングス

ホ シ ヒトと地球に潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により
地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』として前に進み続ける



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	P4
02	2024年度上期 連結実績	P8
03	2024年度通期 連結業績予想	P15
04	財務状況	P18
05	TOPICS	P21
06	補足資料	P27



ラクだ。

UNF/LO

2024 AUTUMN & WINTER

01

連結実績および連結業績予想
ハイライト

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2Q	437 億円 〔前年同期比 +8.0% +32億円〕	2 億円 〔前年同期比 +5億円〕	0.2 億円 〔前年同期比 +5億円〕	1 億円 〔前年同期比 +6億円〕
上期	951 億円 〔前年同期比 +5.2% +47億円〕	53 億円 〔前年同期比 +4.6% +2億円〕	52 億円 〔前年同期比 +18.2% +8億円〕	41 億円 〔前年同期比 +43.5% +12億円〕

- 2Q期間の売上高は、酷暑に対応した機能性商品の販売好調や、OMOサービス「クリック&トライ」の利用拡大などにより、前年同期比で8.0%の増収となった。また、2Q期間としては、2008年2月期以来17期ぶりに全段階利益で黒字転換を実現した。
- 上期累計の売上高は、5.2%の増収となった。特に、UNFILOが92.1%、KASHIYAMAが38.5%、チャコットコスメティクスが27.1%の増収と大幅に伸長した。基幹ブランドも、23区が4.3%、五大陸が8.0%、ペットパラダイスが9.0%の増収と、堅調に推移した。上期累計の営業利益は4.6%の増益で着地した。
- コロナ禍からの回復期に増加した商品在庫水準の適正化を計画的に進めた結果、上期の売上総利益率は1.2%低下して55.4%となった。一方で、ブランド複合店の展開による店舗運営の効率化などにより、上期の販管費率は1.1%改善して49.9%となった。以上の結果、上期の営業利益率は0.1%低下して5.5%となった。
- 持分法投資利益の増加や為替差損の解消などにより、上期の経常利益は18.2%の増益、当期純利益は43.5%の大幅増益となった。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
下期 1,149 億円 (前年同期比 +15.8% +157億円)	72 億円 (前年同期比 +16.1% +10億円)	70 億円 (前年同期比 +22.3% +13億円)	41 億円 (前年同期比 +10.5% +4億円)
通期 2,100 億円 (前年同期比 +10.7% +204億円)	125 億円 (前年同期比 +11.0% +12億円)	122 億円 (前年同期比 +20.5% +21億円)	83 億円 (前年同期比 +24.8% +16億円)

- 2023年5月に持分法適用会社となっていたウィゴーの残る株式を、2024年9月に追加取得し、完全子会社化した。
- その結果、ウィゴーの下期売上高100億円を上乗せし、通期の売上高予想を上方修正する。
- 通期の営業利益、経常利益、当期純利益については、直近の予想を据え置く。

■ 配当方針

株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、配当性向の目安を40%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益を配分。

	2024年度予想	2023年度実績
1株あたり配当金	24円	20円
配当金総額(百万円)	3,257	2,714
当期純利益(百万円)	8,250	6,611
配当性向	39.5%	41.1%

■ 中間配当制度の導入

株主の皆さまへの利益還元の機会を充実させるために、2025年度より、定時株主総会の決議を経た上で、中間配当制度を導入する予定。



自由区

02

2024年度上期 連結実績

2024年度上期 連結実績

- 売上高は、前年同期比5.2%増収(+47億円)の951億円。
- 営業利益は、4.6%増益(+2億円)の53億円。
- 当期純利益は、43.5%増益(+12億円)の41億円。
- EBITDAは、4.1%増加(+3億円)の77億円。

(百万円)	上期実績			対2023年度		対公表値	
	2024年度	2023年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	95,102	90,411	94,900	+4,691	+5.2%	+202	+0.2%
売上総利益	52,709	51,152	52,950	+1,557	+3.0%	△ 241	△ 0.5%
(対売上高比率)	(55.4%)	(56.6%)	(55.8%)		(△ 1.2%)		(△ 0.4%)
販管費	47,454	46,130	47,450	+1,324	+2.9%	+4	+0.0%
(対売上高比率)	(49.9%)	(51.0%)	(50.0%)		(△ 1.1%)		(△ 0.1%)
営業利益	5,255	5,022	5,500	+233	+4.6%	△ 245	△ 4.5%
(対売上高比率)	(5.5%)	(5.6%)	(5.8%)		(△ 0.1%)		(△ 0.3%)
経常利益	5,213	4,412	5,500	+801	+18.2%	△ 287	△ 5.2%
(対売上高比率)	(5.5%)	(4.9%)	(5.8%)		(+0.6%)		(△ 0.3%)
当期純利益	4,108	2,862	4,050	+1,246	+43.5%	+58	+1.4%
(対売上高比率)	(4.3%)	(3.2%)	(4.3%)		(+1.1%)		(+0.0%)
EBITDA※	7,690	7,390	8,000	+300	+4.1%	△ 310	△ 3.9%
(対売上高比率)	(8.1%)	(8.2%)	(8.4%)		(△ 0.1%)		(△ 0.3%)

※ EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2024年度上期 事業会社別実績

(百万円)			上期実績		対2023年度	
			2024年度	2023年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	54,722	51,566	+3,156	+6.1%
		営業利益	2,938	3,210	△ 272	△ 8.5%
2	オンワード コーポレートデザイン	売上高	8,952	8,209	+743	+9.1%
		営業利益	990	825	+165	+20.0%
3	アイランド	売上高	2,772	2,844	△ 72	△ 2.5%
		営業利益	74	△ 23	+97	↗
4	チャコット	売上高	5,358	5,059	+299	+5.9%
		営業利益	645	565	+80	+14.2%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	3,140	2,969	+171	+5.8%
		営業利益	303	235	+68	+28.9%
6	大和	売上高	10,108	10,592	△ 484	△ 4.6%
		営業利益	795	999	△ 204	△ 20.4%
7	国内グループ会社小計	売上高	35,959	34,745	+1,214	+3.5%
		営業利益	3,159	2,780	+379	+13.6%
8	ヨーロッパ計	売上高	6,116	4,832	+1,284	+26.6%
		営業利益	△ 259	△ 449	+190	↗
9	アメリカ計	売上高	1,153	936	+217	+23.2%
		営業利益	△ 175	△ 231	+56	↗
10	アジア計	売上高	3,613	3,234	+379	+11.7%
		営業利益	120	40	+80	+200.0%
11	海外グループ会社小計	売上高	10,882	9,002	+1,880	+20.9%
		営業利益	△ 314	△ 640	+326	↗
12	連結合計	売上高	95,102	90,411	+4,691	+5.2%
		営業利益	5,255	5,022	+233	+4.6%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2024年度上期 販路別売上高

- リアル販路(百貨店+SC他)は、4.9%増収。
- ECは5.5%増収。EC化率は29.4%、自社EC比率は85.5%と高水準を維持。

(百万円)		①オンワード樫山				②国内EC対象事業会社7社※				合計 (①+②)			
		2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率
1	百貨店 (構成比)	20,029 (36.6%)	19,911 (38.6%)	+118	+0.6% (△ 2.0%)	5,524 (21.7%)	4,894 (19.8%)	+630	+12.9% (+1.9%)	25,553 (31.9%)	24,805 (32.5%)	+748	+3.0% (△ 0.6%)
2	SC他 (構成比)	19,019 (34.8%)	17,171 (33.3%)	+1,848	+10.8% (+1.5%)	12,009 (47.2%)	11,972 (48.4%)	+37	+0.3% (△ 1.2%)	31,028 (38.7%)	29,143 (38.2%)	+1,885	+6.5% (+0.5%)
3	リアル販路計 (構成比)	39,048 (71.4%)	37,082 (71.9%)	+1,966	+5.3% (△ 0.6%)	17,533 (68.9%)	16,866 (68.2%)	+667	+4.0% (+0.7%)	56,581 (70.6%)	53,948 (70.7%)	+2,633	+4.9% (△ 0.1%)
4	自社EC (構成比)	13,492 (24.7%)	12,670 (24.6%)	+822	+6.5% (+0.1%)	6,688 (26.3%)	6,643 (26.9%)	+45	+0.7% (△ 0.6%)	20,180 (25.2%)	19,313 (25.3%)	+867	+4.5% (△ 0.1%)
5	自社EC比率	86.1%	87.5%		△1.4%	84.5%	84.4%		+0.1%	85.5%	86.4%		△0.9%
6	他社ECモール (構成比)	2,182 (4.0%)	1,814 (3.5%)	+368	+20.3% (+0.5%)	1,231 (4.8%)	1,226 (5.0%)	+5	+0.4% (△ 0.1%)	3,413 (4.3%)	3,040 (4.0%)	+373	+12.3% (+0.3%)
7	EC計 (構成比)	15,674 (28.6%)	14,484 (28.1%)	+1,190	+8.2% (+0.6%)	7,919 (31.1%)	7,869 (31.8%)	+50	+0.6% (△ 0.7%)	23,593 (29.4%)	22,353 (29.3%)	+1,240	+5.5% (+0.1%)
8	売上高計 (構成比)	54,722 (100.0%)	51,566 (100.0%)	+3,156	+6.1% -	25,452 (100.0%)	24,735 (100.0%)	+717	+2.9% -	80,174 (100.0%)	76,301 (100.0%)	+3,873	+5.1% -

※Eコマースを運営している以下の国内事業会社7社

アイランド、ティアクラッセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、KOKOBUY

UNFILO

【 オンワード樫山 】

新開発の機能性商品を販促と連動させ売上を拡大。



上期売上高
(前年同期比)

+ **92.1%**

23区

【 オンワード樫山 】

気候変動に対応した「即着」MDの積極投入が奏功。



上期売上高
(前年同期比)

+ **4.3%**

KASHIYAMA

【 オンワードパーソナルスタイル 】

デジタル広告によるプロモーション施策により、客数増、客単価向上。



上期売上高
(前年同期比)

+ **38.5%**

五大陸

【 オンワード樫山 】

盛夏対策アイテムがリアル店舗、ECともに好調に推移。



上期売上高
(前年同期比)

+ **8.0%**

チャコット・コスメティクス

【 チャコット 】

新規開発商品のプレストパウダーが売上を牽引。



上期売上高
(前年同期比)

+ **27.1%**

ペットパラダイス

【 クリエイティブヨーコ 】

ペットカート等の新規開発商品が高稼働。インバウンド売上も好調に推移。



上期売上高
(前年同期比)

+ **9.0%**

- 「クリック＆トライ」サービスの導入店舗数は前年同期末から47店舗増加の407店舗となり、導入率は63%に上昇。
- 予約点数は前年同期比18%増加の13万1千点。
- 導入店舗（既存）の売上高増減率（前年同期比）は未導入店舗を18%上回る。

■ 導入店舗数・予約点数の推移

	2024年度 上期	2023年度 上期	増減
店舗数	407	360	+47
導入率	63%	51%	+12%
予約点数(千点)	131	111	+20

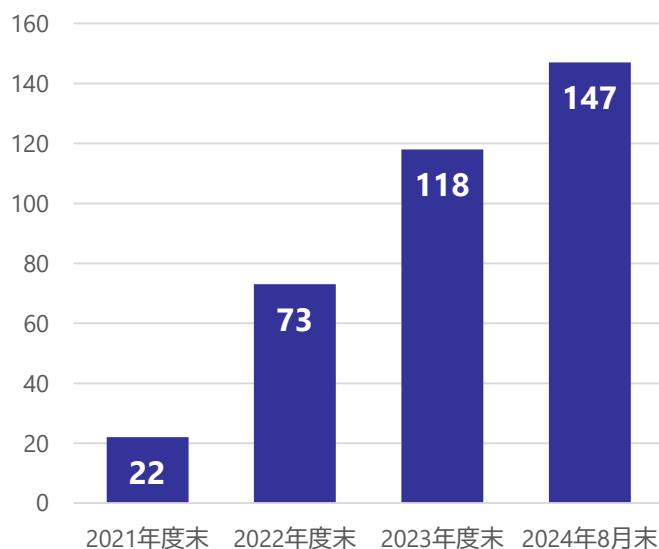
■ 導入店舗・未導入店舗の売上高（前年同期比）

	2024年度 上期	2023年度 上期
導入店舗	114%	113%
未導入店舗	96%	91%
差	+18%	+22%

「オンワード・クローゼットセレクト（OCS）」

- OMOサービス「クリック&トライ」を実装し、オンワード樫山の複数ブランドを取り揃え展開。
- 2024年8月末では、2023年度末から29店舗増加し、全国147店舗展開。
- 上期の売上高前年同期比は、OCS以外の既存店舗を21%上回る。

■ OCS店舗数の推移



■ OCS売上高（前年同期比）

	2024年上期
オンワード・クローゼットセレクト(OCS)	120%
OCS除く店舗	99%
差	+21%



2024年8月オープンの浦和伊勢丹オンワード・クローゼットセレクト（メンズ）。メンズOCSの店舗も増加。



i c b

03

2024年度通期 連結業績予想

2024年度通期 連結業績予想

- 通期の業績予想は、下期業績予想を据え置いた上で、10月から新たに連結されるウィゴの業績予想を上乘せし、売上高を上方修正。
- 売上高は公表値より100億円増の、前年同期比10.7%の増収(+204億円)。(なお、売上総利益、販管費はいずれも+51億円を見込む。)
- 営業利益以下は公表値を据え置き。

(百万円)	2024年度 予想	2023年度 実績	公表値	対2023年度		対公表値	
				増減額	増減率	増減額	増減率
1 売上高	210,000	189,629	200,000	+20,371	+10.7%	+10,000	+5.0%
2 売上総利益	116,250	105,782	111,150	+10,468	+9.9%	+5,100	+4.6%
(対売上高比率)	(55.4%)	(55.8%)	(55.6%)		(△ 0.4%)		(△ 0.2%)
3 販管費	103,750	94,522	98,650	+9,228	+9.8%	+5,100	+5.2%
(対売上高比率)	(49.4%)	(49.8%)	(49.3%)		(△ 0.4%)		(+0.1%)
4 営業利益	12,500	11,260	12,500	+1,240	+11.0%	+0	+0.0%
(対売上高比率)	(6.0%)	(5.9%)	(6.3%)		(+0.1%)		(△ 0.3%)
5 経常利益	12,200	10,126	12,200	+2,074	+20.5%	+0	+0.0%
(対売上高比率)	(5.8%)	(5.3%)	(6.1%)		(+0.5%)		(△ 0.3%)
6 当期純利益	8,250	6,611	8,250	+1,639	+24.8%	+0	+0.0%
(対売上高比率)	(3.9%)	(3.5%)	(4.1%)		(+0.4%)		(△ 0.2%)
7 EBITDA [※]	17,700	16,052	17,700	+1,648	+10.3%	+0	+0.0%
(対売上高比率)	(8.4%)	(8.5%)	(8.9%)		(△ 0.1%)		(△ 0.5%)

※ EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2024年度通期 事業会社別業績予想

(百万円)			2024年度 予想	2023年度 実績	対2023年度	
					増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	114,966	109,491	+5,475	+5.0%
		営業利益	8,741	8,189	+552	+6.7%
2	オンワード コーポレートデザイン	売上高	18,346	17,188	+1,158	+6.7%
		営業利益	1,593	1,485	+108	+7.3%
3	アイランド	売上高	6,002	5,716	+286	+5.0%
		営業利益	99	△ 83	+182	↗
4	チャコット	売上高	10,500	9,613	+887	+9.2%
		営業利益	719	649	+70	+10.8%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	6,902	6,486	+416	+6.4%
		営業利益	706	660	+46	+7.0%
6	大和	売上高	22,583	21,037	+1,546	+7.3%
		営業利益	1,756	1,728	+28	+1.6%
7	ウィゴー	売上高	10,000	-	-	-
		営業利益	0	-	-	-
8	国内グループ会社小計	売上高	85,366	70,567	+14,799	+21.0%
		営業利益	5,669	4,970	+699	+14.1%
9	ヨーロッパ計	売上高	12,499	11,355	+1,144	+10.1%
		営業利益	366	156	+210	+134.6%
10	アメリカ計	売上高	2,330	1,890	+440	+23.3%
		営業利益	△ 145	△ 414	+269	↗
11	アジア計	売上高	7,137	6,682	+455	+6.8%
		営業利益	100	47	+53	+112.8%
12	海外グループ会社小計	売上高	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
		営業利益	321	△ 211	+532	↗
13	連結合計	売上高	210,000	189,629	+20,371	+10.7%
		営業利益	12,500	11,260	+1,240	+11.0%

※ウィゴー10月より連結。

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む。

※オンワードコーポレートデザインの前年値および前回予想(下期)には、旧オンワード商事に加え、旧オンワードクリエイティブセンターの数値を含む。



04

財務状況

- EBITDAは、前年同期比4.1%増加の77億円。
- 純資産は、非支配株主持分の減少により前期末より4.3%減少(△36億円)の813億円。
- 自己資本比率は、前期末より1.3%増加の47.9%。
- 流動比率は、前期末より0.7%増加の118.4%。

EBITDA

(百万円)

2024年度 上期	2023年度 上期	増減	増減率
7,690	7,390	+300	+4.1%

自己資本比率

2024年度 上期	2023年度 期末	増減
47.9%	46.6%	+1.3%

純資産

(百万円)

2024年度 上期	2023年度 期末	増減	増減率
81,347	84,995	△ 3,648	△ 4.3%

流動比率

2024年度 上期	2023年度 期末	増減
118.4%	117.7%	+0.7%

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益、および棚卸資産の増加などにより63億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得、政策保有株式の縮減などより0.3億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増減および配当金の支払い等により48億円の支出。

■ 設備投資

(百万円)

- 設備投資額は、前年同期から11億増加の28億円。
- DX関連やOMO関連など投資を厳選し、効率的に実施。

2024年度 上期	2023年度 上期	増減	増減率
2,761	1,641	+1,120	+68.3%

■ 減価償却費

(百万円)

- 減価償却費は、前年同期と同水準の20億円。

2024年度 上期	2023年度 上期	増減	増減率
2,007	1,957	+50	+2.6%



uncrave

05

TOPICS

株式会社ウィゴの完全子会社化

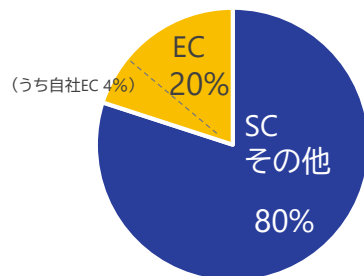
- 当社は2023年5月にウィゴとの資本業務提携を行い、同社発行済株式総数の20.27%を取得、持分法適用会社にした。
- 当社の有する経営ノウハウなどを活用することで、ウィゴの事業再生を進めた結果、ウィゴの2024年度の業績は5期ぶりに営業黒字に転換する見込み。
- 2024年9月に完全子会社化したことにより、DX投資や人的資本投資などを加速させ、ウィゴの企業価値の更なる向上を目指す。
- ウィゴは、10代～20代のZ世代を中心とする若年層を主要顧客とし、ショッピングセンターやファッションビル、EC等で事業を展開。
- 当社グループとは顧客層や主要販路において補完関係にあり、シナジー効果の追求により、更なる事業の拡大を期待。



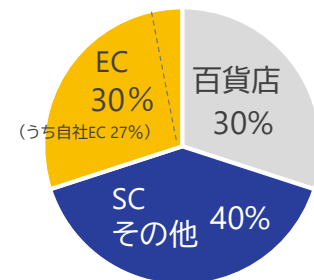
登録顧客
会員数

約340万人

販路別
売上比率



約530万人

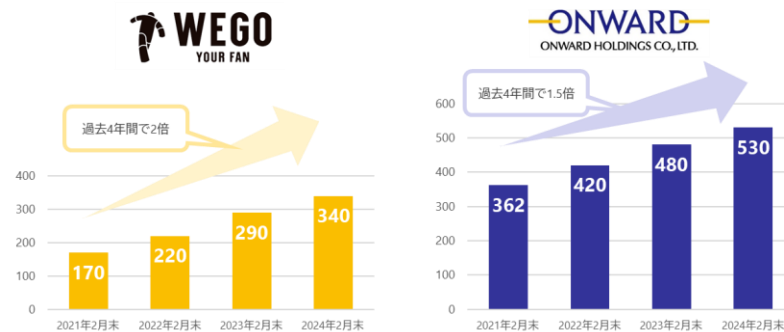


株式会社ウィゴの完全子会社化の目的

登録会員数

両社合算で
**総会員数が
約870万人に拡大**
(2024年2月末時点:単純合算)

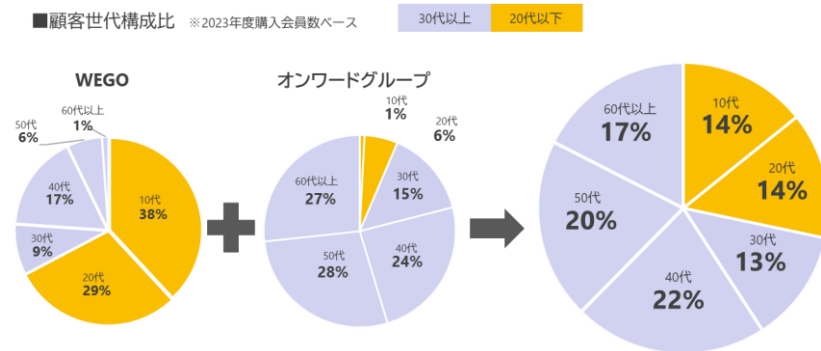
登録会員数の推移 単位:万人



顧客基盤

WEGOは顧客の7割が10代+20代
オンワードグループの主要顧客は30代~60代
**世代バランスの取れた
顧客基盤を形成**

顧客世代構成比 ※2023年度購入会員数ベース



アジア展開

インバウンド需要の高いWEGOのコンテンツと
オンワードグループのネットワークとのシナジーで
**アジアマーケットへの
展開を加速**

WEGO都心路店 インバウンド売上高比率



『product(ザ・プロダクト)』 がリブランディング

株式会社KOKOBUYの、オーガニック&ナチュラルブランド『product(ザ・プロダクト)』は、2024年7月にリブランディングを実施。主要販路であるヘアサロン販売に加え、ドラッグストア・バラエティストア等のマス流通を強化し、事業拡大を推進。女優・森七菜さんをブランド初のアンバサダーとして起用し、Z世代をコアターゲットに認知拡大を図る。ロゴやデザインも刷新し、独自性のある商品開発で、オーガニック・ナチュラル市場において確かな存在感を示していく。



【 販売人財の年収10%アップ、初任給24万円(3.3万円アップ)を実現 】

株式会社オンワード樫山は、ファッションスタイリスト(販売職)として働く人財への投資を強化するため、2024年3月に人事制度を改定した。販売の最前線で活躍するファッションスタイリスト2,451名の年収を平均10%引き上げ、モチベーションアップを図り、接客や販売力の強化を通じて顧客満足度の向上を目指す。また、2025年卒採用より、初任給も24.0万円(3.3万円アップ、+16%)に引き上げ、採用面も強化する。※首都圏/4年制大学卒



2024年4月1日にオンワードバイパークビルディングにて開催された
「2024年度オンワードグループ入社式」



2024年4月25日に東京會館にて開催された
「2023年度オンワードグループ表彰式」

【 オンワード・リユースパーク吉祥寺10周年 】

環境コンセプトショップ「オンワード・リユースパーク吉祥寺」は、2014年に業界初の環境・社会貢献型店舗として出店し、2024年3月に10周年を迎えた。衣料品循環システム「オンワード・グリーン・キャンペーン」で回収した当社衣料品の中から、状態の良いものを選別し、クリーニング後リユース衣料品として販売。オンワードグループが取り組むサステナブル活動の発信拠点であり、収益は全て当社のサステナブル活動に活用。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」は、スタートした2009年から2024年8月末の累計で830万点の衣料品を回収。



オンワード・リユースパーク吉祥寺(外観)



オンワード・リユースパーク吉祥寺(店内)



06

補足資料

2024年度上期 連結販管費 / 当期純利益影響項目

	(百万円)	2024年度上期	2023年度上期	増減率
1	人件費	18,378	18,103	+1.5%
2	賃借料	12,719	12,201	+4.2%
3	運賃運搬費	3,149	3,162	△ 0.4%
4	広告宣伝費	3,258	2,935	+11.0%
5	減価償却費	1,606	1,565	+2.6%
6	その他	8,344	8,164	+2.2%
7	販管費計	47,454	46,130	+2.9%

	(百万円)	2024年度上期	2023年度上期	増減率
8	営業利益	5,255	5,022	+4.6%
9	営業外収益	306	317	△ 3.5%
10	受取利息・配当金	172	150	+14.7%
11	持分法による投資利益	65	15	+333.3%
12	その他	68	150	△ 54.7%
13	営業外費用	349	927	△ 62.4%
14	支払利息	173	269	△ 35.7%
15	為替差損	8	473	△ 98.3%
16	その他	166	183	△ 9.3%
17	営業外損益計	△42	△609	-
18	経常利益	5,213	4,412	+18.2%
19	特別利益	1,767	362	+388.1%
20	固定資産売却益	902		
21	投資有価証券売却益	865	362	+139.0%
22	特別損失	1,700	385	+341.6%
23	減損損失	243	242	+0.4%
24	災害損失引当金繰入額		137	-
25	関係会社整理損	1,445		-
26	その他	10	5	+100.0%
27	特別損益	67	△23	-
28	税前利益	5,280	4,390	+20.3%
29	法人税等	1,110	1,382	△ 19.7%
30	少数株主損益	61	144	△ 57.6%
31	当期純利益	4,108	2,862	+43.5%

【当期純利益影響項目】

- 受取利息・受取配当金等による営業外収益3億円。
- 支払利息等による営業外費用3億円。
- 固定資産売却益、投資有価証券売却益による特別利益18億円。
- 関係会社整理損、減損損失等による特別損失17億円。
- 法人税等は、業績向上により将来課税所得の増加が見込まれ、繰延税金資産の計上に伴い税負担率が低下。
- 以上の結果、当期純利益は41億円となった。

2024年度上期 連結貸借対照表

	(億円)	2024年度上期末	2023年度末	前期末比±
1	資産合計	1,697	1,713	△ 16
2	流動資産	721	734	△ 13
3	現金及び預金	136	141	△ 5
4	売掛金	142	159	△ 17
5	棚卸資産	406	389	+17
6	固定資産	976	979	△ 3
7	有形固定資産	505	504	+1
8	無形固定資産	90	88	+2
9	投資その他の資産	379	386	△ 7
10	負債合計	883	863	+20
11	買掛金	233	226	+7
12	借入金	393	376	+17
13	その他	257	261	△ 4
14	純資産合計	813	849	△ 36
15	自己資本比率	47.9%	46.6%	+1.3%
16	流動比率	118.4%	117.7%	+0.7%

■ 棚卸資産

秋冬商材の仕入による
季節的な要因による増加。

■ 借入金

新規借入による増加。

■ 純資産

優先株式取得に伴う
少数株主持分の減少。

■ 自己資本比率

前年度末より1.3%増加の47.9%。

■ 流動比率

前年度末より0.7%増加の118.4%。
安全性の目安である100%以上を
維持。

2024年度 グループ別上期実績・通期予想

		(百万円)	上期実績				通期予想			
			2024年度	2023年度	増減額	増減率	2024年度	2023年度	増減額	増減率
オンワード + HD 樫山	1	売上高	54,722	51,566	+3,156	+6.1%	114,966	109,491	+5,475	+5.0%
	2	売上総利益 (売上比)	31,898 (58.3%)	31,245 (60.6%)	+653	+2.1% (△ 2.3%)	68,859 (59.9%)	65,428 (59.8%)	+3,431	+5.2% (+0.1%)
	3	販管費 (売上比)	28,960 (52.9%)	28,035 (54.4%)	+925	+3.3% (△ 1.5%)	60,118 (52.3%)	57,239 (52.3%)	+2,879	+5.0% (+0.0%)
	4	営業利益 (売上比)	2,938 (5.4%)	3,210 (6.2%)	△ 272	△ 8.5% (△ 0.8%)	8,741 (7.6%)	8,189 (7.5%)	+552	+6.7% (+0.1%)
国内グループ 会社小計	5	売上高	35,959	34,745	+1,214	+3.5%	85,366	70,567	+14,799	+21.0%
	6	売上総利益 (売上比)	18,051 (50.2%)	17,626 (50.7%)	+425	+2.4% (△ 0.5%)	42,451 (49.7%)	35,076 (49.7%)	+7,375	+21.0% (+0.0%)
	7	販管費 (売上比)	14,892 (41.4%)	14,846 (42.7%)	+46	+0.3% (△ 1.3%)	36,782 (43.1%)	30,106 (42.7%)	+6,676	+22.2% (+0.4%)
	8	営業利益 (売上比)	3,159 (8.8%)	2,780 (8.0%)	+379	+13.6% (+0.8%)	5,669 (6.6%)	4,970 (7.0%)	+699	+14.1% (△ 0.4%)
海外グループ 会社小計	9	売上高	10,882	9,002	+1,880	+20.9%	21,966	19,927	+2,039	+10.2%
	10	売上総利益 (売上比)	4,718 (43.4%)	4,047 (45.0%)	+671	+16.6% (△ 1.6%)	10,174 (46.3%)	9,158 (46.0%)	+1,016	+11.1% (+0.3%)
	11	販管費 (売上比)	5,032 (46.2%)	4,687 (52.1%)	+345	+7.4% (△ 5.9%)	9,853 (44.9%)	9,369 (47.0%)	+484	+5.2% (△ 2.1%)
	12	営業利益 (売上比)	△ 314 (-)	△ 640 (-)	+326	↗	321 (1.5%)	△ 211 (-)	+532	↗



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。